



助けあい物語賞

作文・エッセイの部 社協会長賞受賞作品

「やさしさ、えがお、たすけあい」

取手市立取手東小学校 第2学年

長谷川 夏穂^{かほ}

わたしは、ようちえん生のときに目の見えない人をバスでいまであんないしたことがあります。その日は、いつもより少し早めに家を出てようちえんへむかいました。あるいているとちゅう、白いつえをついた目のふじゆうな方と出あいました。その方はぼしょがわからないようだったので、ママといっしょに、

「だいじょうぶですか。」

と、こえをかけてみました。するとその方が、

「バスでいに行きたいので道を教えてください。」

と、言われたので、

「はい、いいですよ。」

と、言ってバスでいまでつれていってあげました。おくっているとき、ようちえんに少しおくれちゃうかとも思っていました。おくりおわると、とても心があたたかくなりました。

また、わたしは、でん車で赤ちゃんマークをつけた人にせきをゆずったことがあります。そのとき、とてもいい気持ちになりました。なぜかという、一つは、わたしは小さいころでん車にのるとせきをゆずってもらっていました。それをできたからです。もう一つは、ゆずった人に、えがおで、

「ありがとう。」

と、言われたからです。これからも目のふじゆうな方や、小さい子、赤ちゃんがいる人に自分からゆずれるようにしたいなとおもいます。

わたしがすきなのは3つあります。

一つ目は、やさしさです。やさしさはすると、するがわは、できてよかったなとうれしくなります。

二つ目は、えがおです。えがおでいると、自分のえがおで、だれかを元気づけることもあるからです。

三つめは、たすけあいです。たすけあいがあると、みんながうれしいし気持ちよいから、みんながえがおになれるからです。わたしは、やさしさ、えがお、たすけあい、この3つを大切にしたいです。

この作文を書いた理由

やさしさ、えがお、たすけあいがあるとみんなが気持ちいいし、楽しいから。しあわせになれるから。